

基礎・基本の定着を図る学習過程の工夫とノート指導の充実

【久喜市教育委員会】

1 学校、学年、教科 小学校、全学年、算数

2 ねらい

算数における確かな学力を身につけ、基礎・基本の確実な定着を図る取組として、学習の流れの充実とノート指導の充実、学習形態の工夫を行う。

3 取組内容

(1) 1時間の学習過程を意識した授業の展開（児童に分かりやすい学習過程）

「学習過程」のとらえかた

1時間の学習過程としても、単元の学習過程としてもとらえられる。

「や」のとらえかた

- ・クラスで話し合っの一番を決める。
(みんなの一番)
- ・自分の中で1番やりやすい方法を選ぶ。
(自分なりの一番)

鷺宮小学校

算数学習の進め方



算数大好き「わ・し・の・み・や」

わ	わかったら	問題を読んで、分かっているところに直線、聞いているところに波線を引こう。
し	しっかり見通し	答えがどのくらいになるのか、どうやったら解けるかを予想しよう。
の	ノートに書く	今まで習ったことをもとに、自分の考えをノートに書いて、問題を解いてみよう。
み	みんなで考える	自分の考えを分かりやすく発表したり、友達のことを聞いて比べたりしよう。
や	やっぱりこれが一番!	一番いいやり方をまとめよう。分かったことを使って、問題を解いてみよう。



これで、みんなも算数名人!

埼玉県マスコット「コロン」



(2) 共通のノート指導

低・中・高のブロックごとにノートの書き方や約束を決め、共通した指導を実施する。問題の解決の仕方や書き方を共通にして、学年が変わっても同じ流れで解決することができるようにする。

自力解決する際には、既習事項や図、言葉、数直線などを用いて自分の考えを表現できるようにしている。

100の表、たし算のしかたを考えたよ、25円のカステラと14円のおめをかいたよ、25+14=39、P15の計算問題、ひき算の答えにひく数をたすと、ひかれる数になる。

低学年のノートの書き方

1/2のたし算、小数のしくみを調べよう、1/2+1/3、3/6+2/6=5/6、1/8+3/8=4/8=1/2、1.25+4.63=5.88、0.1=1/10

中学年のノートの書き方

(3) 個に応じた指導の工夫

○学習形態の工夫：TT、少人数指導

1～2年生：TTによる指導を週3時間実施

(1クラスを2名の教員で、児童の様子を細かく把握し対応する。)

3～6年生：学年を3つに分けた少人数指導の実施

(単元や児童の実態により習熟度別指導等を行う。)

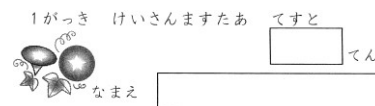


○考えを伝え合う場の工夫：ペア学習やグループ学習全体での練り上げに入る前に、個々の考えをもとによさがどこにあるのか、なぜその解決方法を選択したのか話し合う。よりよいものに練り上げていく時間と場を確保する。



(4) 定着を図るために：ドリル学習の重視

毎週2回、業前の時間にドリルタイムを実施し、繰り返しの学習により定着を図ってきた。また、各学期の終わりには「算数マスターテスト」を実施し、よりいっそうの定着を図っている。



- ① $8 + 2 =$
- ② $5 + 3 =$
- ③ $6 + 0 =$
- ④ $3 + 6 =$
- ⑤ $4 + 5 =$
- ⑥ $2 + 3 =$
- ⑦ $7 + 1 =$
- ⑧ $0 + 9 =$
- ⑨ $3 + 4 =$
- ⑩ $1 + 5 =$
- ⑪ $8 - 4 =$
- ⑫ $7 - 3 =$
- ⑬ $9 - 7 =$
- ⑭ $5 - 0 =$
- ⑮ $8 - 6 =$
- ⑯ $6 - 1 =$
- ⑰ $9 - 9 =$
- ⑱ $7 - 1 =$
- ⑳ $8 - 4 =$
- ㉑ $5 - 3 =$



計算マスターテスト(1学期) 名前 _____ 月 日 _____

〇ひっさんでいさんしましょう。

① $33+52$	② $27+10$	③ $30+40$	④ $62+5$	⑤ $48+2$
⑥ $7+18$	⑦ $22+28$	⑧ $23+47$	⑨ $4+77$	⑩ $29+9$
⑪ $76-41$	⑫ $63-30$	⑬ $55-36$	⑭ $90-30$	⑮ $48-7$
⑯ $95-28$	⑰ $70-34$	⑱ $84-76$	⑲ $63-8$	⑳ $20-3$

算数マスターテスト

4 成果と課題

授業の学習過程「わ・し・の・み・や」の実践を通して学習の進め方を深めることができ、問題を解決するために次に何をすればよいか分かってきた。また、各学年の児童の実態に応じたノートの書き方の指導により、解決の仕方を分かりやすく書くことができるようになり自力解決を進めることができた。

今後は、児童が問題を解決するときや説明するときの表現する力をつけることと、より個に応じた手立てや見通しの持たせ方、練り上げの工夫を図りたい。